

2024年10月23日

記者派遣授業

新聞の作り方 感想

愛徳学園中学校 3年

実際に神戸新聞の方にお話を伺って、思った以上に新聞は深くて、5w1hや3つの見出しのことなど、新聞が読みやすい理由を知れた上に、次に自分が新聞を作る時に役立つことばかりだったので、有意義な時間になったと思います。

今回お話していただいて、新聞は結論から書くようになっていて初めて知りました。それも締め切りギリギリに入ったニュースをすぐに入れることができるようになっていてとても興味深かったです。新聞がいつも分かりやすく、読みやすいのは5W1Hでまとめられているのだと知ることができました。

今回何気ない気持ちで見ている新聞でしたがこんなにも作るまで沢山の過程があってご5W1Hや見出しの工夫などが詰まっているのかと驚きました。また10分前に来たビックニュースを載せようとする新聞社の方々に感動を受けた。私たちにいち早く情報を載せようとしてくださる姿勢や惹かれるような見出しを作るための工夫にまた感動させられました。

私が一番驚いたのは夜の十分ほどで新聞に最新の記事を入れているということです。また、タイトルだけで内容のほとんどがわかるというのもすごいと感じました。実際にタイトルを考えたり、5w1Hで自分が伝えたいことを表現するのもなかなか難しかったです。

文字を40字で収めることが難しかったです。
短い時間でたくさんのお話を聞いて
すごく驚きました。

神戸新聞の方のお話を直接聞く機会はないので凄く貴重な時間だなと思いました。

今回自分達で作る新聞がより良いものになるなと思いました。

この時間がなかったらなにかから書けばいいかわからなかったけど、私の印象に残っている5W1Hを大事に色々なことを新聞に書けたらいいなと思いました。

貴重なお時間ありがとうございました。

私は新聞のような、長文を書いたり説明したりするのは苦手ですが、今日説明してくれた、5W1Hを知ってとても文が書きやすそうと思ったので、これから説明文などを自分で書くときは意識してみようと思いました。

5W1Hをしっかりと入れて書いている、見出しは問いかけではなく、言い切りで書くと言うことを初めて知りました。これを機に、新聞を読む時は教えていただいたことを意識しながら読もうと思いました。

40字という少ない字数で伝えたいことを書くことが難しかったです。短時間で新聞の組み替えや字数の調整ができることに驚きました。

今まで見出しはただの題名だと思っ
ていましたが、今日の授業で内容を短
くわかりやすくしたもので見出しを見
れば大体わかるものだと知りました。

今まで何度か新聞をつくったときに見出しに結論を書くという新聞にとっても大事な部分を知らずにそれに関係する単語のみを書いたり、見出しに何を書けばいいのかをはっきり理解していなまま書いたりしていました。今日教えていた新聞の作り方ははじめ聞いたときはとても難しそうだと思っていましたがこれは読者が読みやすさがあがったり、作りやすくなったりするということを知ったので挑戦していきたいと思いました。

速報が入ってきた時に締切まであと10分とかの短い時間で記事を書いてレイアウトも変えるのをするのはすごいなと思いました。

神戸新聞社の方のお話し

見出しを書く時に、自分が感じた心境や、学んだ事を書くと言ったことがとても納得しました。確かに新聞を見ていると人が言った言葉のような見出しがあったりするなと思いました。

5W1Hを新聞に活用できることを初めて知りました。自分が持っている知識を新聞を作る時に使えることを知って、より書いてみたい気持ちが大きくなりました。

今まで学級新聞を作った事はありませんでしたが、そこまで細かく考えた事が無かったので、今日いろんな事を教えて頂いて新聞を作るのには沢山の工夫が必要だという事が分かりました。例えば、文字の形や大きさ、色なども読者にとってはとても大切な事だという事が特に印象的でした。また、どんな記事にも5W1Hが入っていたので、やはり大切な事だと思いました。